

2 0 0 5 年 度 事 業 報 告

事業概要

地域社会の様々な課題を解決する新たな担い手として、多種多様な活動をくくり広げる市民セクターへの期待が高まっている。これは、市民が求めるニーズに応えるために自らがサービスの提供者となるがゆえに市民の共感を得るところが大きいからといえる。また、この十数年来、公共サービスの担い手である国や地方自治体は、債務過大の財政事情から財政改革、機構改革などに取り組まざるを得ない状況にあって、公共サービスの縮小、廃止などを次々と打ち出している。このため行政は、これまでのニーズだけでなく新たな社会ニーズに応えることが難しくなっていることから、市民セクターがその役割を担うことに期待している。

こういった「役割分担」が語られる影響もあって、市民活動やNPOへの社会の期待はいつそう高まり、ボランティアや市民活動に携わる人、あるいは関心を示す人も年々増加してきている。今後は、いわゆる「団塊の世代」の給与所得者が退職することに伴い、こういった活動に参加する人たちが増えると考えられる。

しかしながら、NPOの状況は、介護保険適用事業者など一部を除いた多くの団体では資金繰りが苦しく、また、事業の拡大や活動の深化に伴い専門的な知識技術の向上が求められる他、事業継続のためのマネジメント能力の確保も課題といえる。

このような現状を踏まえ、2005年度は、NPOへの事業支援とともに組織基盤の強化に向けた支援を行うことに取り組んだ。

主な事業としては、資金面での基盤強化を図り、経営力が高められるよう2002年から実施している「おうみNPO活動基金助成事業」の内容を拡充するとともに、組織体制の充実強化を図るために専門家による事業サポートを行った。また、新しい地域課題に取り組む魅力あるリーダーの養成が必要であることから「おうみ未来塾」を運営し、6月に7期生28名を受け入れるとともに、3月には6期生19名が卒塾した。その他、専門的な知識技術を習得する場として、交流事業や各種講座・セミナーなどを開催した。

また、県立県民交流センターの管理運営を2004年度に引き続き県から受託した。なお、この受託事業は、県が2006年度から指定管理者制度を採ったため、当財団は2006年3月末をもって受託業務を終了した。

事業実績

1 情報提供事業

(1) 情報交流誌「おうみネット」の発行

センターの事業、県民の動き、意見・提言、活動団体の活動情報などを掲載する「おうみネット」を発行した。

規 格：A4判 12頁 二色刷

発行部数：10,000部/回

発行回数：6回（NO.47～52・奇数月発行）

配 布 先：市民活動団体、個人等 1,800部、
他府県NPOセンター、行政（県・市町村）、社協、図書館、
公民館、ホール、大学、高校、郵便局など

(2) 活動団体データベースの整備

活動団体データベースの整備を行うことにより、センターでの情報提供に活用し、活動団体間の情報交流を図るとともに、データベースの更新を実施した。

(3) 淡海NPOデータファイルの発行

活動団体を広く紹介し、ネットワークの形成を促すため「淡海NPOデータファイル2005年度版」を発行した。

発行部数：500部

掲載団体：253団体

- (4) 情報・資料の収集と閲覧・貸出
地域づくり情報、人情報、活動団体情報、国や自治体の施策情報、助成団体情報などを収集・提供するとともに、閲覧・貸出の便宜を図った。
- (5) インターネットの活用
センターのホームページを通じて、センターの事業の活動情報や市民活動団体の情報発信を行った。
アクセス総数：28,517件（累計 144,391件）
- (6) メールマガジン「おうみネットe～マガジン」の配信
無料メーリングリストを利用して、市民活動団体に月3回程度、イベント、助成金、センター事業等の情報提供を行った。
配信件数：633件/回
配信回数：40回（第69号～第91号、号外17回）

2 交流事業

- (1) 淡海ネットワークサロンの開催
県民の市民活動への関心を高め、また活動団体同士の交流を促進するため、サロンを開催した。（3回開催）
- 【第1回】
テーマ：京阪電気鉄道の地域活動～NPO法人HCCグループとの取り組みより～
課題提供者：京阪電気鉄道株式会社 木村浩一さん
NPO法人HCCグループ 末富孝也さん
日時：2005年9月18日(日) 13:30～15:00
場所：京阪浜大津駅改札となり「スカイサーカス」
参加者：8名
- 【第2回】
テーマ：ヴォーリス記念館を訪ねて～ヴォーリス資料館とアクト21企画～
課題提供者：アクト21企画 臼坂登世美さん
日時：2005年9月24日(土) 13:30～15:30
場所：今津ヴォーリス資料館
参加者：20名
NPO市民熱人と共催
- 【第3回】
テーマ：ふるさと淡海・地域マングラ～『心象図法』で郷土の自然と暮らしを描く～
日時：2005年10月1日(土) 13:00～16:00
場所：高島市「環の郷」交流・研究センター
課題提供者：環琵琶湖生活圈・人と地域研究所 上田洋平さん
参加者：9名

- (2) 交流サロンの運営
ピアザ淡海内の交流サロンを運営するとともに、掲示板、情報ラックを活用し、人と情報の交流を図った。

3 活動活性化事業

- (1) 相談業務
県民や団体のさまざまな相談に応じる窓口を運営した。
相談実績：来室 103人 電話 112件

(2) おうみ市民活動フォーラムの開催

県内の市民活動やNPOの情報を広く紹介することにより、市民活動やNPOへの理解を深め、こうした活動への参加の気運を醸成するとともに、市民活動団体の交流を深めるため、おうみ市民活動フォーラムを実行委員会により開催した。

日 時：11月19日(土)～20日(日)

場 所：ひこね市文化プラザ

参加団体：71団体

参加者：約1,333人(のべ)

(3) 各種講座の開催

【会計・マネジメント講座】

テーマ：NPOのための会計・税務基礎講座

内 容：会計帳簿作成の基礎知識、会計帳簿収支計算表の作り方

講 師：公認会計士 藤崇之さん

日 時：2005年7月23日(土) 13:30～17:00

場 所：近江八幡市勤労者福祉センター(アクティ近江八幡)

参加者：33名

アンケート：良く理解できた 15名 / なんとか理解できた 6名

あまり理解できなかった 0名 / 無回答 11名

手話通訳を手配した。

テーマ：市民活動・NPOのための労務・税務講座

内 容：雇用の手続き、税務、労災、雇用、給与報告等

講 師：社会保険労務士 平野義夫さん

税理士 横井昭次さん

日 時：2005年9月8日(木) 13:30～16:20

場 所：野洲市中央公民館

参加者：12名

アンケート：満足 3名 / 普通 3名 / 不満足 0名 / 無回答 6名

テーマ：市民活動・NPOのための会計・税務講座(実践編)

内 容：収益を行う場合の会計・決算報告作成での会計処理・法人税の申告など

講 師：税理士 中川知博さん

日 時：2005年10月14日(金) 13:30～16:45

場 所：楽修院大学(守山市)

参加者：15名(10団体)

アンケート：満足 2名 / 普通 6名 / 不満足 1名 / 無回答 6名

不満足の理由：実際の例による税務申告書作成までやってほしかった。

【その他講座】

テーマ：市民活動・NPOのための個人情報保護講座

講 師：弁護士/大阪NPOセンター理事 三木秀夫さん

日 時：2005年8月26日(金) 13:30～16:00

場 所：草津市市民交流プラザ 大会議室

参加者：43名

アンケート：満足 8名 / 普通 8名 / 不満足 3名

不満足の理由：・個人情報保護法を知らないために、話が分かりにくい。

・もう少しつっこんで欲しい。消化不良気味。

・難しかった。

テーマ：指定管理者制度を考える ～ N P Oによる施設管理の実例から
講師：えひめN P Oセンター 菊池修さん
事例報告者：栗東元気玉クラブ 檜山保子さん
コーディネーター：N P O市民熱人代表 阿部圭宏さん
日時：2005年12月7日(水) 13:30～16:30
場所：滋賀県立県民交流センター 207会議室
参加者：33名
アンケート：良く理解できた 11名 / なんとか理解できた 8名
あまり理解できなかった 0名

(4) 企業・N P Oマッチング事業

提供者：滋賀県国際協会

提供物品：ノートパソコン2台・デスクトップパソコン1台

提供先団体：3団体

提供日：2005年9月27日

提供者：滋賀県信用農業協同組合連合会

提供物品：レースカーテン生地2枚・そろばん26個・方眼紙50冊・綴
込表紙20冊、フラットファイル49冊・パンチレスファイ
ル6冊・クリアケース31冊、2穴バインダー20冊・スクラ
ップブック4冊・皿17枚・湯飲み茶托付15客、コップ10
個・コーヒーカップ皿付4個

提供先団体：8団体

提供日：2005年9月27日

提供者：東京三菱銀行（現:三菱東京U F J銀行）

仲介者：N P O法人日本N P Oセンター

提供物品：ディズニーキャラクターフィギュア（6体入）1,425セット

提供先団体：22団体

提供日：2005年12月22日

(5) N P Oサポート事業

市民活動団体の運営・事業実施に関してサポートするため、センター職員および
事業サポートアドバイザーが訪問面談して、自立のための集中的なサポートを行っ
た。

訪問・面談サポート

・サポート団体数：18団体

・面談回数：39回（うちアドバイザー7回）

マネジメント講座の開催

・開催日：2006年1月29日（日） 13:30～17:00

・会場：県民交流センター会議室（ピアザ淡海）

・内容：講義「活動団体の課題とその解決のために」
マネジメント指導

・講師・指導者：石井伸弘さん（市民フォーラム21・N P Oセンター
事業企画局長）

(6) N P O支援センターとの連絡会

淡海ネットワークセンターと県内に設立されている地域支援センターのスタッフ
が相互の機能を高めるため、情報交換を行う連絡会を開催した。

開催回数：計6回（隔月）

(7) 情報ボックスの運営

団体間の情報交換を支援するための情報ボックスの運営を行った。

利用団体：137団体（2006.3.31現在）

(8) ワーキングコーナーの運営

会報やチラシづくりの支援のため、印刷機、紙折り機、コピー機等を備えたワーキングコーナーの運営を行った。

利用実績：702件 990人

4 人材育成事業

(1) おうみ未来塾の開催運営

地域プロデューサー育成のための「おうみ未来塾」を開講した。新たに第7期生を受け入れ、第6期生のグループ研究とあわせた一体的な塾の運営を行った。2006年度に向けて8期生を募集した。

受講期間：2年間

塾生人数：第6期生 19人 ・ 第7期生 28人

主な日程：第7期生入塾式 6月12日(日)

第6期生卒塾式 3月11日(土)

第8期生募集説明会（大津会場）3月11日(土) 10:00～

（高島会場）3月18日(土) 10:00～

（米原会場）3月19日(日) 10:00～

(2) 研修等の受け入れ

NPOについてより理解を深めてもらうため、NPOに関心を持つ人材を研修生として受け入れた。

インターンシップ実習生（大学生）の受け入れ

受入期間：8月1日～9月15日のうち10日間

受入人数：1名（財団法人大学コンソーシアム京都より）

5 おうみNPO活動基金の運営

(1) おうみNPO活動基金助成事業の実施

NPOに対して一定期間の資金助成を通じた自立支援を行うため、「おうみNPO活動基金」により、NPOの基盤整備に向けた助成を行った。

なお、企業寄付（滋賀銀行・損保ジャパン）、個人寄付を含め、総額約1,929千円の寄付を受けた。

2005年分助成

助成申請団体数：32団体

助成決定団体：9団体

・滋賀会館シネマホールファンクラブ 継続2年目

・山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会

・NPO法人やまんばの会

・NPO法人蒲生野考現倶楽部 継続3年目

・NPO法人西大津駅周辺防犯推進協議会

・NPO法人びいめ～る企画室

・子どもの美術教育をサポートする会

・NPO法人子どもネットワークセンター天気村

・NPO法人CASN 継続3年目

助成確定総額：10,090千円

2006年分助成

助成申請団体数：40団体

助成決定団体：14団体

自主事業助成 8団体

- ・ N P O 法人琵琶湖ネット草津
 - ・ N P O 法人あさがお
 - ・ N P O 法人西大津駅周辺防犯推進協議会 継続 2 年目
 - ・ 子どもの美術教育をサポートする会 継続 2 年目
 - ・ N P O 法人環境工房ころころ
 - ・ 滋賀会館シネマホールファンクラブ 継続 3 年目
 - ・ 山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会 継続 2 年目
 - ・ N P O 法人 N P O 子どもネットワークセンター天気村 継続 2 年目
- 協働事業助成 4 団体
- ・ 草津塾
 - ・ N P O 法人 N P O ぽぼハウス
 - ・ N P O 法人 H C C グループ
 - ・ N P O 法人湖西生涯学習まちづくり研究会どろんこ
- N P O 活動支援事業助成 2 団体
- ・ マキノまちづくりネットワークセンター
 - ・ N P O 法人 F I E L D

助成決定総額： 1 2 , 1 8 7 千円

6 滋賀県立県民交流センターの管理および運営

生き生きとした地域づくりを目指して、社会貢献活動その他のさまざまな分野における自発的な活動に参加する県民が集い、交流するための施設である「滋賀県立県民交流センター」の管理および運営を行った。（滋賀県からの受託事業）